

【薬物依存症者処遇プログラム研修】「第7回 薬物依存症者回復支援セミナー」

【企画の趣旨】

わたしたちのグループは、10年以上にわたって、薬物依存症からの回復についての共同研究を行ってきました。

まず、第1段階では、「治療共同体」について調査研究を実施し、そのひとつの例である「アミティ」という処遇プロバイダーを日本に紹介しました。第2段階では、アメリカの「ドラッグ・コート」と呼ばれる薬物関連犯罪専門裁判所を調査研究し、日本への導入の可能性を検討しました。これらの研究によって、「ドラッグ・コート」のコンセプトが注目を集めるようになり、より具体的な制度提案を望む声が大きくなってきました。

今回の共同研究は、その第3段階に位置するもので、『日本版ドラッグ・コート構想』を実現するためのアクションプラン（行動計画）を策定し、実施することを目的としています。わたしたちは、①これまで質量とも不十分とされてきた「回復プログラム」についての情報を収集し、その評価研究を実施することによって、モデル・プログラムを構築します。②プログラムの実施のためには、その担い手の養成が不可欠です。薬物依存からの回復のためのプログラムのコーディネーター（RC）とファシリテーター（RF）を養成するための研修を企画・実施します。

RCは、医療機関・福祉機関・矯正施設等の職員、保護観察官、保護司、NGOスタッフなどの回復支援者であり、回復者がプログラムを実践していくための環境を整備するスタッフです。RFは、回復者とともにプログラムを実践していくスタッフで、治療共同体や自助グループではリカバード（回復者）が中心となります。

将来的には、RCおよびRFの資格化を検討します。また、プログラム実施機関の適否を評価するシステムの構築を目指しています。

将来的には、刑事施設、更生保護機関、医療機関、福祉機関、民間NGOなどの提供する薬物依存症者回復プログラムおよび実施機関の認証システムを構築することによって、刑事司法からダイバートされた依存症者の受け皿の開発に寄与することを具体的な目的としています。

【参加希望者の募集】

今回のパイロット・セミナーは、出会いと語り合いを大切にしています。ワークショップなどの構成上、参加者を司法、医療および福祉それぞれ12人、当事者16人、マスコミ関係その他12人程度とします。グループワークの性質上、一定の職業やジェンダーに偏らないように調整します。

参加希望者は、あらかじめファックスでお申し込みください。定員をオーバーした場合には、参加者を限定させていただきますので、あらかじめご了承ください。募集後、速やかに事務局より参加の可否をご連絡をさせていただきます。

【費用】

資料代 3000 円+カンパ

【申し込み締め切り】5月27日(金)必着

セミナーの情報については、NPO 法人アパリ、および龍谷大学矯正・保護総合センターのホームページでも公開しています。

●NPO法人アパリ: <http://www.apari.jp/npo>

●龍谷大学矯正・保護総合センター:

<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/index.php>

＝お問い合わせ及びお申込み先＝ 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 電話 075-645-2040

龍谷大学矯正・保護総合センター FAX でのお申込 075-645-2632

参加を希望される方は、【参加申込書】、【参加希望理由】にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。

参 加 申 込 書

フリガナ				ご所属・ご職業 (差し支えなければ)	
お名前					
ご住所	〒				
FAX 番号		電話番号		メール アドレス	

【参加希望理由】